

屋久島 宮ノ浦岳 山行報告

2020. 5. 1

彷徨倶楽部

<報告> H

3月春分の日の連休を利用し、日本百名山の最南端：屋久島 宮ノ浦岳の縦走を行ったので、その報告を行う

■はじめに

宮ノ浦岳は、深田久弥によると・・・

東西約 28 キロ 南北約 24 キロの ほぼ円形の孤島 屋久島の中央部に位置し、海上からは大きな山が海の上にそびえているように見える。島の名前は、古く昔は 益救(やく)といわれていて、それは 海沿いの部落にある 益救神社によるもので、このお宮から 宮ノ浦という村名が生まれ、その名前が山にも冠せられたとのことである・・・

屋久島は、1993 年に世界自然遺産に登録された島であるが、その登録理由は ①亜熱帯から亜寒帯までの植物の垂直分布が見られる事 ②世界各地で失われつつある照葉樹林(しょうようじゅりん)が広範囲に残されている事 ③日本固有のスギ林(屋久杉)のすぐれた生育地・景観として見られる事 であり、多くの山人のあこがれの山域である

今回の計画は、(費用面から)飛行機～船への乗り継ぎ、雨の多い山域、新型コロナ流行の兆しによる移動規制など計画の変更要素が多く潜む 山行となるため、色々な突発事項を想定し、柔軟に対応出来る内容とした。

■山行概要

<日 時> 2020.3.20(金祝)滋賀県内 発

～ 3.23 月滋賀県内 帰着

<メンバー> 彷徨倶楽部 Y、H、他 1 計 3 人

<行 程> 1 日目：入山：淀川登山口～淀川小屋

2 日目：淀川小屋～宮之浦岳～新高塚小屋
屋

3 日目：新高塚小屋～下山：白谷雲水峡



■山行計画

<基本計画の立案は・・・> 屋久島は

- ・年降水量が、港のある集落でも 4600 mm と多く(大津市 1500 mm)、行程が天候に左右される事
- ・費用を考へて船で屋久島に上陸する計画のため、海のシケによる 船の欠航の可能性がある事
- ・世界自然遺産登録により、ハイシーズンは、避難小屋や幕営場所が混雑する事が想定される事
- ・6 月以降は台風に遭遇する確率が高い事などから、かねてより、3 月に予備日 1 日を含め 4 日間の日程を確保できるチャンスを狙っていたところ、今年度は祝日を含め三連休の暦となることから、前後どちらかの平日を加えた計画を立てるに至った。また約半年前より、常時変動する鹿児島までの LCC 飛行機の値段を日々確認しながら、前年 12 月に基本計画にとりかかった。

<詳細計画は・・・>

2020 年 2 月 15 日発行の 雑誌「岳人」3 月号で、偶然にも宮之浦岳特集が出版されたため、縦走路の状況把握など、詳細計画作成の参考とし、1 日目・2 日目・3 日目に雨が降る場合を想定した行程を準備した

<実行計画は・・・>

当時、新型コロナが流行しそうなタイミングであったため、若干の影響を危惧していたが、1 週間前に若干の計画変更を余儀なくされ。3/13 に、乗船予定の鹿児島港の 11 時発宮之浦港行の高速艇の欠航連絡があり、鹿児島市内で

の1時間半の待ち時間が発生することになったため、当初屋久島での、食料・水分・ガスの調達及び昼食の予定を前倒し、鹿児島市内で行ない。飛行機持ち込み用のパッキングから登山用のパッキングへの変更を行う事に計画変更した。

■山行結果

詳細は次頁以降にて記載するが、山行の主である2日目は、雲一つない快晴に恵まれ、宮之浦岳から360度の雄大な景色を堪能することができた。

3日目は一転早朝から終日激しい雨となったが、縄文杉など、屋久島本来のしっとりとした雰囲気を楽しむことができた。

悪天候にも関わらず、同日屋久島町内まで移動することができる時間帯に下山口にたどり着くことができたため、タクシーを手配し、港近くの民宿に宿泊し、翌朝1便早い高速艇で鹿児島市内へと帰路についた

■日程計画

3/20(金)	往路	滋賀県内	⇒	中部空港 光駐車場	⇒	中部国際空港	⇒	鹿児島空港
		集合 3:30 車		150km 6:00	迎	6:15 8:15	車	9:45 GK691
	移動	鹿児島空港	⇒	鹿児島本港	⇒	宮之浦港	⇒	淀川登山口
飛 10:30		Rバス	11:24 12:00	船	13:50 14:10	夕	15:10	
登山	淀川登山口	⇒	淀川小屋		※水場にて給水			
	15:20	歩	16:00 泊					
3/21(土)	登山	淀川小屋	⇒	宮之浦岳	⇒	新高塚小屋		水場にて給水
		6:30	歩	11:40 12:10	歩	14:40 泊		
3/22(日)	下山	新高塚小屋	⇒	白谷山荘		天候により最終バスで下山も可能白谷山荘⇒白谷雲水峡 14:15⇒14:45 宮		
		7:00	歩	11:40 泊				
予備	下山	4/22 白谷山荘泊の時		白谷山荘	⇒	白谷雲水峡	⇒	宮之浦港
				8:00	歩	8:40 9:05	バス	9:35
3/23(月)	帰路	宮之浦港	⇒	鹿児島本港		⇒	鹿児島空港	
		10:45	船	12:35 <観光約90分>	14:06	Rバス	15:00	
帰路	鹿児島空港	⇒	中部国際空港	⇒	那空港 光駐車場	⇒	滋賀県内	
	16:30 GK696	飛	17:30 18:20	送迎	18:30 車 150km		21:00	

■日程実績

3/20(金)	往路	滋賀県内	⇒	中部空港 駐車場	⇒	中部国際空港	⇒	鹿児島空港
		集合 4:00 車		150km 6:00	迎	6:15 8:15	車	9:45 GK691
	移動	鹿児島空港	⇒	鹿児島本港	⇒	宮之浦港	⇒	淀川登山口
飛 10:30		Rバス	11:24 12:00	船	13:50 14:00	夕	15:20	
登山	淀川登山口	⇒	淀川小屋		※水場にて給水			
	15:20	歩	16:00 泊					
3/21(土)	登山	淀川小屋	⇒	宮之浦岳	⇒	新高塚小屋		水場にて給水
		6:30	歩	11:40 12:10	歩	14:40 泊		
3/22(日)	下山	新高塚小屋	⇒	白谷山荘	⇒	白谷雲水峡	⇒	宮之浦町内
		6:30	歩	14:00 14:20	歩	15:20 15:20	夕	16:10 泊
3/23(月)	帰路	宮之浦港	⇒	鹿児島本港	⇒	鹿児島市内	⇒	鹿児島空港
		10:30	船	12:00 <昼食>	歩	14:10 Rバス		15:00

	鹿児島空港	⇒	中部国際空港	⇒	中部空港 駐車場	⇒	滋賀県内
帰路	16:30 GK696	飛	17:30 18:20	送迎	18:30 150		21:00



■ 装備

今回の装備については、特に綿密に重量管理を行った。通常この時期に宿泊予定の各避難小屋が満員になることは稀とは聞いていたが、現地ガイドからの情報で、学生の登山サークルが団体で入山する可能性があるとのこと、念のためテントを持参したことや、LCC利用による手荷物重量制限、雨天での歩行も考慮し、限界まで荷物を減らした

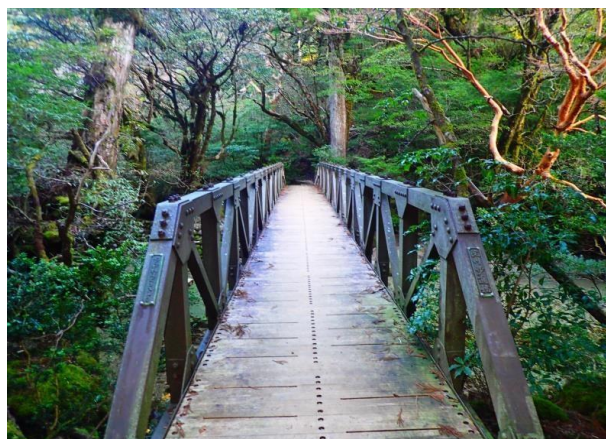
	品目	数	重量	携行者						備考		
				H			Y				他	
				飛行機		現地	飛行機		現地		飛行機	現地
				手荷物	預け	購入	手荷物	預け	購入		手荷物	預け
共同 装備	テント (2人用)	本体+内張り	1300	1300		1000				H : 2人用 Y : 1人用		
		ポール・ペグ	500	500		300						
		外張り	200	200								
		シート	320	320								
	携帯電話		180		180		180					
	ガスヘッド	2	160		200		300			岩谷ガス用+EPS		
	ガス	中	2	400		400		400		鹿児島にて購入		
	布巾		100	100		100		100				
プラティ		25	25									
ゴミ袋120ℓ		50	100		100		100		スクール対応用			
食料	1日目夜	3/20	食事		500		500		400		淀川小屋にて給水	
			水分									
	2日目朝	3/21	食事		250		250		200		淀川小屋にて給水	
			水分									
	2日目夜	3/21	食事		500		500		400		新高塚小屋にて給水	
			水分									
	3日目朝	3/22	食事		150		150		200		新高塚小屋にて給水	
			水分									
3日目夜	3/22	食事		500		500		400		白谷山荘にて給水		
		水分										
4日目朝	3/23	食事		250		250		200		白谷山荘にて給水		
		水分										
	行動食			400		400		300				
	嗜好品			300		300		300				
他	裁縫セット		50						50			
個人 装備	計画書		5	5		5		5				
	健康保険書		5	5		5		5				
	ザック・ザックカバー		2000	2000		2000		1500				
	サブザック		300	300		300						
	登山靴(夏・冬)/予備はきも		500	500		500		400				
	雨具/防寒具		700	700		700		700				
	着替え・タオル		1000	1000		1000		1000				
	スパッツ		160	160		160		160				
	ストック 2本 又は 1本		500	250		500		500		500		
	帽子		100	100		100		100				
	グローブ		70	70		70		70				
	水筒160/テルモス		280	660							飲料水を入れておく	
	食器セット		300	300		300		150				
	サングラス		90	90		90		90				
	コンパス		20					20				
	ホイッスル		15	15								
	ナイフ		70	70		70						
	シュラフ		1000	1000		1000		900				
	マット		540	320		540		540				
	ヘッドランプ・予備電池		90	90		90		90				
	携帯電話/充電電池		220	220		220		220				
	救急セット		150	150		150		150				
	カメラ		200	300		300						
カビナ/シリカゲル	200	250	750		250					L : 180・60・60 持参		
他	非常用 水分		1000		1500		1000		500		鹿児島市内で購入	
飛行機手荷物重量 7kg/1人				6600		6280		7040		6640		
飛行機預入重量 20kg以内				8230		6900		2390		17520		
現地購入					1900		1400				水分+ガス	
重量計				16730		14580		9430				

■行程状況

3/20 ①淀川登山口より入山



3/20 ②淀川避難小屋までの登山道



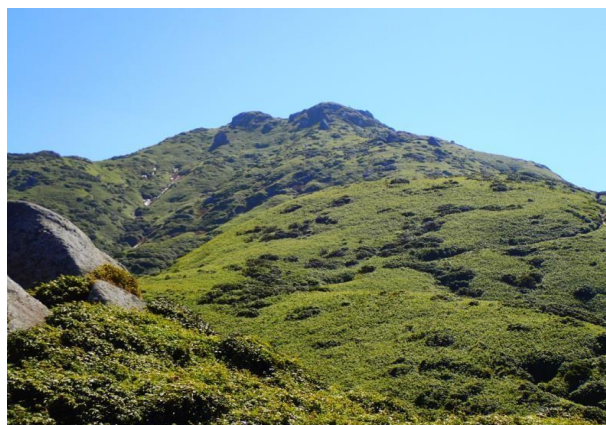
3/21 ③花之江河



3/21 ④宮之浦岳までの縦走路



3/21 ⑤宮之浦岳



3/21 ⑥宮之浦岳のピーク



3/21 ⑦宮之浦岳からの眺め 永田岳方向



3/21 ⑧高塚小屋までの縦走路



3/21 ⑨高塚小屋までの縦走路



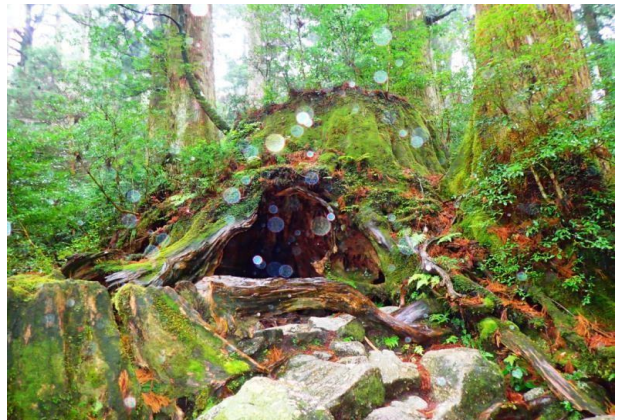
3/21 ⑩高塚小屋までの縦走路



3/22 ⑪縄文杉付近 柵で近づけず遠くに・・・



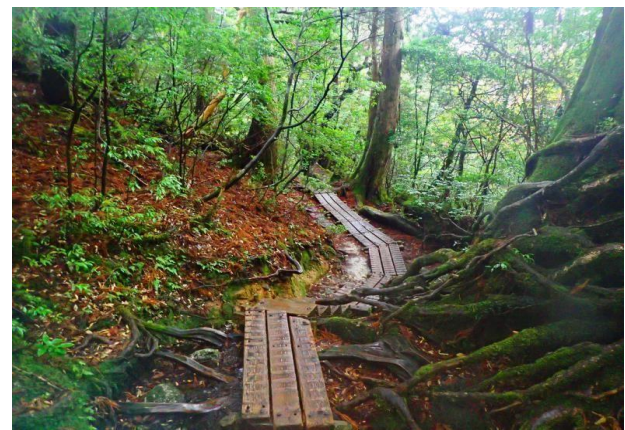
3/22 ⑫ウィルソン株



3/22 ⑬ウィルソン株



3/22 ⑭大株歩道に続く木道



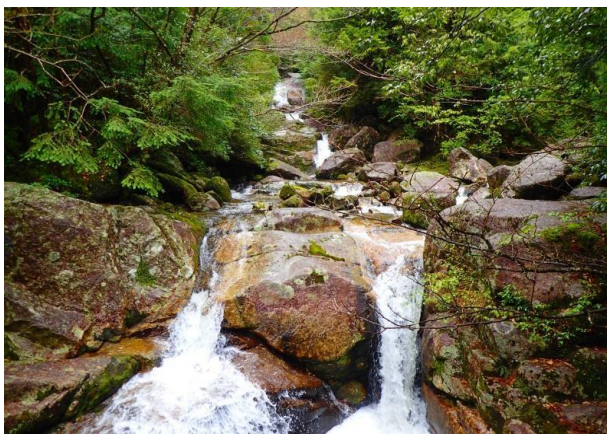
3/22 ⑮大株歩道合流点



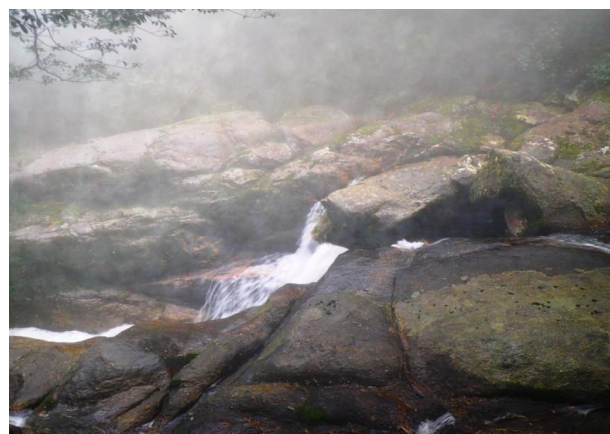
3/22 ⑯大株歩道



3/22 ⑰大株歩道



3/23 ⑱白谷雲水峡 雨と霧で良く見えず



■費用精算

内容	備考 1	備考 2				金額計	人数	金額/人
3/20 車	ガソリン	150 km	野洲	⇒	光駐車場	1450	3	483
3/20 車	高速代		田上 IC		常滑 IC	3200	3	1067
3/20 車	光駐車場	飛行機代に含む				4200	3	1400
3/20 バス			鹿児島空港	⇒	鹿児島本港	1300	1	1300
3/20 高速艇	事前予約	往復割引	鹿児島本港	⇒	宮之浦港	8300	1	8300
3/20 タク	事前予約		宮之浦港	⇒	淀川登山口	13200	3	4400
3/22 タク	当日予約		白谷雲水峡		町内	3900	3	1300
3/22 民宿	当日予約	素泊まり				9000	3	3000
3/23 高速艇		往復割引	宮之浦港	⇒	鹿児島本港	8300	1	8300
3/23 車	ガソリン	150 km	光駐車場	⇒	野洲	1450	3	483
3/23 車	高速代		常滑 IC		田上 IC	4300	3	1433
飛行機		運賃	中部国際	⇔	鹿児島	41280	3	13760
飛行機		会員割引	中部国際	⇔	鹿児島	-826	3	-275
飛行機	20kg	預け荷物料	中部国際	⇔	鹿児島	4130	3	1377
飛行機		支払い手数料	中部国際	⇔	鹿児島	3720	3	1240
飛行機		施設使用料	中部国際	⇔	鹿児島	2280	3	760

								48328

■最後に

今回の宮之浦岳山行は、新型コロナが大きく流行するギリギリのタイミングであった。仮に2週間後ろにずれていた場合は移動制限等で中止せざるを得ない状況であったが、幸いにもほぼ当初の計画通り行程を実行することができた。登山者も避難小屋がギリギリ埋まる程度で、不自由なく不自由なく利用することができ、雨の中で幕営することもなく、行程に余裕が出たことは大きい。雑誌「岳人」でも特集が組まれていた通り、3月は比較的登山者も少なく、静かな山歩きを楽しむにはベストのタイミングと思われる。

今後、宮之浦の山行計画を立てられる方がおられたら、参考にさせていただきたい。